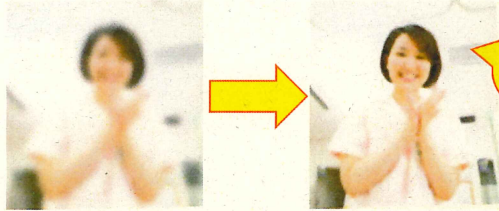


6か月の赤ちゃんのパパ・ママへ

人見知りは成長の証！！

生後6ヵ月ごろになると視力が著しく発達します。この頃になると人の顔を覚える能力がつき、この頃から赤ちゃんの目は形がだんだん見えるようになってきます。さらに声など視覚以外の感覚機能でママとパパ、他人の区別がつくようになり、人見知りが始まります。



生後3ヶ月の目の見えかた

生後6ヶ月の目の見えかた

この時期の赤ちゃんは、感情の発達として「恐れ」が芽生え始めます。見慣れない人に対しては不安を感じて、拒否したり泣き出したりする子もいます。ママは大変ですが、それだけ発達しているということです。ママの育て方とは関係なく、赤ちゃんそれぞれの♡個性♡です。「こういう時期なのね」と、気楽にかまえるといいですよ。

視力は0.1くらい！
こんなふうに見えるよ！！



絵本をよんで♪お歌をうたって♪♪あ・そ・び・ま・しょ♪

目で見たものを自分の手でとり、両手でつかんで目の前でふったり、なめたりするあそびもさかんになります。

ひとりで座ることはまだちょっと難しい赤ちゃんも、ママのひざに座るのは大好き！！お家にある絵本やママが知っている手あそび歌ならなんでもOK！今度はママの声にあわせて、赤ちゃんもまねするようになりますよ。



パパのおひざの上で楽しい～！

歯のはえはじめ おくちのケア

生後6ヵ月は乳歯がはえはじめ、離乳食も始まり、口の形や動きの変化が大きい時期です。歯が生えはじめると、歯の表面に食べ物がのり、むし歯になりやすくなります。少し湿らせたガーゼで歯の表面をやさしく拭いてあげましょう。慣れるまではいやがって泣いてしまうこともあります。パパやママが赤ちゃんの前で楽しそうに歯を磨くことで、こわくないと思ってくれると思います。



寝返りからの転落を予防しましょう！！

赤ちゃんが寝返りをうつ時期になると、ベットやソファから落ちてしまう転落事故が起こりやすいです。ベットから離れる際は、忘れずに柵を上げましょう！！

もし、柵のないベッドであれば、部屋の壁にベッドを寄せて赤ちゃんの頭を壁側にして寝かせるなど、落ちないように工夫しましょう！！



(http://www.e-appu.jp/childcare/i2_4.html)

初めての病気

生後6ヵ月を過ぎるとママからもらった免疫は低下します。また、赤ちゃん自身の免疫力も未熟です。そのため、病気にかかることが多くなります。長時間の外出や人混みの中に連れていくのは、避けましょう。遠出はもう少し大きくなってからがよいでしょう。帰省した時なども、できるだけふだんと同じ生活リズムで過ごしてください。

また、抵抗力の弱い赤ちゃんは病気になると進行が早く、重症化しやすいため、予防接種で免疫をつくるのが大切です。

★病気のサイン★

赤ちゃんは感染症を中心とするさまざまな病気を体験します。病気のサインに早く気づいて、適切なケアを行いましょう。

① 「ふだんと何か違う」という親のカンです。様子がいつもと違うときは、どこが違うのかメモをして小児科を受診しましょう。熱が出ていないなど判断が難しいときは#8000（小児救急電話相談）に電話相談することもできます。

※対応時間：19:00～23:00（4時間） ※台風等の災害時は休止

② 赤ちゃんの平熱（平均:36.4～37.4℃）を知っておきましょう。熱があるかどうかを判断するには平熱を知っておくことが大切です。

参考・引用文献

- ・赤ちゃん & 子育てインフォ 公益財団法人母子衛生研究会 <https://www.mcfh.or.jp/>
- ・写真でわかる小児看護技術/佐々木洋子/インターメディア/2015. 1. 20. 第3版第1刷発行/p30
- ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 1/奈良間美保/医学書院/2015. 1. 6/第13版第1刷©p105, 291~292
- ・笑顔で子育て安心赤ちゃんナビ/水野克己/メディカ出版/2013. 7. 10/第1版第1刷
- ・母子手帳 副読本 p84,94
- ・図1 http://www.e-appu.jp/childcare/i2_4.html